

市町村税特別税戸割一戸當平均四分ノ一以下ノ者及其ノ家族同居人又ハ右ト同程度ノ者ト市町村長ニ於テ認メ知事ノ承認ヲ受ケタルモノヲ救療セリ。

## 二、救療施設

### 一、委託診療

地方ノ實狀ヲ知悉シアル市町村長並方面委員ヲシテ治療券ヲ交付セシメ縣内一般醫師、藥劑師ノ治療投薬ヲナシメタリ、

### 二、出張診療

醫師ノ所在地ヨリ一里以上ヲ隔タル僻村二十ヶ所ヲ選ビ開設セリ、出張診療回數月四回乃至六回出張診療所ハ縣醫師會員ヲシテ之ニ充テリ。

### 三、巡回診療

開業醫師ナキ（出張診療所ヲ開設スル程ノ僻村ニ非ザルモノ）僻村約十五ヶ村ヲ選ビ毎月一同醫師、藥劑師ヲ巡回セシメタリ。

### 三、救療患者

一、實人員 九、五九五人 治療延日數 一一八、五〇七日

#### 内 譯

イ、委託診療	實人員 五、六五三人 治療延日數 九五、五一七日
ロ、出張診療	實人員 二、三八五人 治療延日數 一六、〇三二日
ハ、巡回診療	實人員 一、五五七人 治療延日數 六、九四八日

### 滋賀縣

#### 實施ノ概況

昭和八年臨時醫療救護費トシテ御下賜金及國費金二萬八千四百二十四圓ヲ本縣ニ配當アリシヲ以テ其ノ一半金一萬四千二百十二圓内譯金七千百六圓御下賜金。金七千百六圓國費ヲ財團濟生會ニ交付シ委託診療ヲ擴充セシメ一半ハ日本赤十字社滋賀支部ニ委嘱シテ巡回診療ヲ施行セリ。事業實施ニ付テハ毫モ遺憾ナキヲ期シ以テ擴大無邊ナル聖旨ヲ奉戴シテ救療ノ徹底ニ努メ各市町村長及方面委員ヲ督シテ漏救、濫救ノ事ナカラシムルコトニ留意セシメ多數ノ薄倖者ヲ救療シ得タリ。

救療事務取扱ニ付テハ凡テ財團濟生會滋賀縣診療規程並取扱細則ニ依リ施行セリ。

診療班ノ編成ハ前年度同様ナルモ巡回村ニ於テ當年度ヨリ佐山村、多羅尾村、劍熊村ヲ廢止シ山内村ヲ新ニ加ヘラレタルヲ以テ總數ニ於テ二箇村ヲ減少セリ而シテ診療滯在日數ヲ毎回一村一日トシ旅行日モ可及的短縮シ概ね一ヶ月間ニ一村二回以上巡回ヲ施行セリ。

巡回村ノ狀態ハ前年度同様ニシテ特ニ記スペキモノナシ但シ村民一般ノ衛生思想ハ大ニ向上シ殊ニ永年賣藥ノ効能書ニヨリ培ハレタル「何病ニハ何藥」ト藥ガ凡テ其ノ病氣ニ對シテ特効アル如ク考ヘラレタル思想ハ漸次薄ラギ投藥ハ其ノ對症療法ニシテ病氣ノ治癒ハ投藥ノミニ依ラズ投藥ハ只人間自然力ノ補助ニ外ナラズト云フ感念ノ體氣ナガラ芽ザシツツアルハ診療ノ効果ロリ以上期待スペキモノアリ、

尙近來主訴明ナラザルモ漫然診療ヲ望ムモノ殆ンド無キニ至リ爲ニ診療ヲ圓滑ニ進歩シ得ルニ至リシハ喜ブベキ傾向ナリトスサレド多年ノ惡習不衛生ノ根絶ハ前途遼遠タルモノアリ診療班員ノ努力尙一層期スペキモノアルハ論ヲマタス。

當年度間診療實施延日數ハ四百三十五日ナリ。

#### 其他特記スペキ事項

救療者ノ凡テハ聖恩ノ優渥ナルニ感泣セリ。此等の心地良き感動は實に甚大也。此等の感動は實に甚大也。此等の感動は實に甚大也。

### 岐阜縣

#### 實施ノ概況

本縣ハ山間僻陬ノ土地多ク從ツテ開業醫師ノ分布狀況不均霽ナルヲ以テ三十七ヶ村三十九ヶ所ニ對シ年百圓乃至四百圓ノ助成金ヲ交付出張診療所ヲ設ケ月四回以上ノ出張診療ノ義務ヲ負ハシメ一面四班ヲ組織シ居ル巡回診療班ヲシテ各々其ノ區域ヲ定メ一月以内ニ其ノ區域ヲ一巡回セシムル等必死ノ活動ヲナシ居ルモノニシテ地方民ノ歡喜一方ナラズ豫期以上ノ成績ヲ擧ゲシメタリ。

## 長野縣

### 實施ノ概況

- 一、前年度實施ノ成績ニ鑑ミ施行方法ニ幾多ノ改善ヲ加ヘタルガ主ナル事項ヲ列舉スレバ左ノ如シ。
    - (1) 巡回診療箇所ノ變更
    - (2) 出張診療所ノ増設並變更
    - (3) 巡回診療回數ノ增加
    - (4) 巡回診療回數ノ增加
- 巡回診療ハ從來月三回ノ巡回ナリシ所診療ノ實績ヨリシテ一旬一回ニテハ兎角實効ヲ削減サルル虞不妙ルノ以テコレヲ月四回ニ改メ專ラ內容ノ充實ニ努メタリ。

### 救療資格範囲ノ確定

- 巡回診療並出張診療ノ救療資格ハ從來當該町村長ノ認定ニ委セ置キタルモ動モスレハ濫救ニ陷ルノ弊ナキニ非ス依テ新ニ割然タル限界ヲ設ケ以テ救療ノ統一ヲ期シタリ。

- (1) 叮村稅特別稅戶數割一戸平均額ノ四割以下ヲ納ムル者及免稅者ヲ無料トシ。

### 其他特記すべき事項

- (2) 前項以外ノ者ハ郡市醫師會ノ規定料金ト同額ヲ當該町村へ寄附シタル場合ニ於テ前項診療ニ差支ベナキ限り診療不行フコトニ改メタリ。

### 二、恩賜濟生會委託救療

- 恩賜濟生會 委託救療患者ハ漸次本事業趣旨ノ普及徹底ヲ見ルニ從テ增加シ且一面經濟界ノ影響ニヨル窮民增加ノ傾向アル爲前遙カニ皇居ヲ拜シ感謝ノ至情ヲ示シ或ハ回復後ノ奉公ヲ督ヒ或ハ診療事務ニ獻身的奉仕ヲ爲ス等其ノ他何レモ感激措ク能ハサルモノアリ同時ニ又本事業ノ永續實施方ニ關シ屢々陳情シ繼續ヲ念願スル誠ニ切ナルモノアリ如何ニ本事業ガ難有施設ナルコレヲ本救療費ニ充當シ救療上遺憾ナキヲ期スルヲ得タリ。

### ○ 每朝東天ヲ遙拜

北安曇郡社村井上某女ハ老齡ノ母親一人ヲ抱へ而モ赤貧ノ上ニ七八年前ヨリ痼疾、癲癇ニ罹リ其ノ發作ハ漸次回數ヲ増シ甚ダシキ日ハ一日ニ二、三回ニモ及ビ家業ニ從事スルヲ得ズ窮状見ルニ忍ビザルモノガアツタガ恩賜救療出張診療所開設以來治療ヲ受ケツツアリ本年ニ至リテハ發作稀トナリ最近四ヶ月間ハ殆んど一回モ發作ヲ見ズ養蠶其ノ他農事ニ從ヒ家計ヲ補フヲ得聖恩ノ洪大無邊ナルヲ感激シ毎朝起床必ズ東天ヲ遙拜シテ居ル。

### ○ 老姥ノ一念

誠訪郡泉野村有賀某女（當六十九歳）ハ昨年來中風症ニ罹リ恩賜救療診療所ニテ治療ヲ受ケテ居タガ醫師ノ來村ハ當時一ヶ月三回デアツク關係上其ノ中間ハ他ノ醫師ニ權ル方ガ全快ヲ早クスルナドト他人ガ勧ムルトモモツテノ外ノ言トナシ、『天子様ノ御醫者様ニ愈ラヌ病氣ナラ何處ノ醫者デモ愈ル筈ガナイ』ト他人ノ忠告ヲ聞カズ根氣強ク恩賜ノ救療施設ニ通じ医甲斐アリテ一時全快セシモ最近亦モヤ再發目下モ『天子様ノ御醫者様ヨリ外ノ醫者ナラ御免ヲ蒙ムル』申シ引續キ治療ヲ受ケテ居ルガ其ノ信賴ノ度ハ非常ナモノデアル。

### ○感謝ノ詩作

下伊那郡豊村宮下某（六十九歳）ハ本年二月頃ヨリ急性肺炎ニ罹リ經過良好ナラズ生死ノ程モ氣遣ハレテ居タガ恩賜救療ノ醫師ノ熱心ナル治療ヲ受ケタル結果健康ヲ回復シ感謝ノ餘リ再生ノ嬉ビヲ左ノ如ク詩作シテ寄セラレタ。

昭和八年四月偶感患作

病中不食不眠憂 四十日餘回起煩  
春雨露々庭院靜 池邊垂柳自風流

### ○理解アル奉仕

下伊那郡三穂村ニ於ケル恩賜救療巡回診療所ノ開設ハ全村民ヲシテ感謝ノ念ニ満タシメテ居ルガ適當ナル建物ナキ爲因ツテ居ル事情ヲ察セラレタ同村小學校長ハ自ラ住宅ノ一部ヲ開放シテ診療所ニ提供サレ又同村方面委員ハ獻身的ニ盡力セラレ診療日ニハ長女ヲ終日助手トシテ奉仕セシメラレテ居ル斯クテ同村婦人會副會長（産婆開業）モ亦自ラ奉仕的助力ヲ申出ラレ今ヤ舉村一致デ該事業ノ遺憾ナキ遂行ニ努メテ居ル。

### ○納稅ノ義務ヲ果サン

下高井郡瑞穂村宮○安○郎外十四名ハ赤貧ノ身ニ加フルニ病氣ノタメ苦惱甚ダシカリシモ恩賜救療施設ニヨリテ夫々病氣全快家業ニ精勵スルト共ニ從來生活難ノタメ納稅ノ義務ヲ果サヽリシヲ耻デ愈々忠良ノ臣民トシテ其ノ義務ヲ果サン事ヲ誓ヒ本縣

知事宛ニ感激ノ禮狀ヲ寄セテ居ル。

### ○初メテ時計ノ刻音ヲ知ル

上高井郡保科村某女（當年二十九歳）ハ幼ヨリ耳疾患ノ爲メ難聽ニ陥リ醫療、賣藥、祈禱アツトアラユル方法ヲ講ジテ見タガ更ニ効果現ハレズ今日ニ至ツタノデアルガ幸ヒ當村ニ恩賜救療出張診療所開設セラレ診療ヲ受ケル事トナツタガ醫師ハ本人幼時ニ於ケル發病ノ症狀其ノ後ノ經過等不明ナル故ヲ以テ實母ト共ニ來ラレ度旨話サレ依ツテ母ヲ伴セ診療ヲ受ケタルニ爾來治療奏效シテ日ト共ニ快癒ニ赴キ最近ニ於テハ彼女ヲシテ「生レラ始メテ時計ノ刻音ヲ知レリ」ト雀躍セシムル、カリテナク聖恩ニ感激シ遇フ人毎ニ之ヲ吹聴シ今ヤ家業ニ精勵シテ明ルイ生活ヲ續ケテ居ル。

### 宮城縣

#### 實施ノ概況

一、縣下二市二〇〇町村中昭和八年度ニ於テ恩賜濟生會ヲ通シテ外來患者ニ對シテ診療ヲ行フベキ町村ハ二市一五三町村ニシテ内實施シタルハ二市一三六町村ナリ（内七村ニハ縣立診療院又ハ出張診療所設置シアル關係上外來患者ニ對シテハ診療ヲ行ハズ）但シ入院患者ニ對スル診療ハ全縣下ニ施行致シ居ルモ事實施行シタルハ九八町村ナリキ。

二、別ニ揭示セル如ク外來實人員一、一三四名入院實人員二八一名ニシテ之ヲ月別ニ見ルト年度初ノ四月ニハ外來實人員二七〇名入院ニ於テハ一二五名ニシテ漸次實人員減少セル如キモ之ハ大部分重症或ハ慢性ノ患者ナル爲繼續治療ヲ受ケタル結果ト豫算ノ關係上益々要救療者ノ激増スル近時ノ實相ニモ不拘新患者ノ診療ヲ見合セタルニ基因スルモノナリ。著シキハ一ヶ年治療ヲ受ケ尙轉歸ニ至ラザルモノモ相當數ニ上リタリ。

延人員ニ於テ之ヲ見ルトキ實ニ外來ニ於テハ五六、〇八一名入院ハ一六、六八四二名往診ヲ受ケタル延人員ハ二、三、四名ノ多數患者ヲ診療セリ斯クシテ本救療事業ハ汎ク普及徹底シ其ノ實績極メテ顯著ナリキ。

三、前記ノ如ク救療範圍ハ殆ンド全縣下ニ亘リ受診者ト否トヲ問フズ縣民均シク其聖恩之無窮宏大ナル益々感激シ居る狀態

ナリ殊ニ農漁山村ノ無告ノ窮民ハ之ニ依リ始メテ醫療ノ惠澤ニ浴シ感謝ノ念ハ其ノ言其ノ行ニ表ハレ國民生活ニ一大曙光ヲ與ヘシモノ甚大ナリ。

四、本年度配付ヲ受ケタル診療費ニ於テ不足ヲ來タル爲<sub>財團</sub>濟生會ノ普通救療費及臨時救療費ヲ充當シタルモ尙不足ヲ生ジタル狀況ナリ。

#### 縣ニ於テ直接行ヒタル實施ノ概況

實施ニ依ル救療ハ從來開業醫ナキ地方トテ（殊ニ貧困者）恰モ旱天ニ於ケル慈雨ノ如キ感ヲ以テ迎ヘ該施設ノ下ニ殺到スル毎月ノ救療新患者ハ六百名乃至七百名ヲ算シ外ニ一般患者ヲ加フルトキハ約此ノ二倍ニ及ブベク更ニ前月ヨリノ繰越患者ヲ合スレバ實ニ一ヶ年平均三千名ヲ數フルノ狀況ニ左リテ從來比較的醫療ニ惠マレザリシ地方民ハ本醫療施設ノ實施ト共ニ遍ク均霑セラレ宏大無邊ノ聖恩ニ感激シ居ルノ狀況ナリ。

#### 其ノ他特記スベキ事項

##### 村民一同感激ノ涙

柴田郡富岡村ハ山間僻陬ノ村落ナルガ近年來不況ノ影響ヲ受ケ村民ノ大半ハ生活困難ニ陥リ殊ニ交通不便ナルニヨリ診療ヲ受クルニ多大ノ経費ト長時間トヲ要スル爲自然不如意トナリ僅ニ賣藥等ニ依リテ姑息ナル治療ヲ試ミ居ルヲ例トシ遂ニハ慢性的疾患トナリ不良ノ轉歸ヲ取ル者渺ナカラズ村當局ニ於テモ大ニ憂慮シ之ガ對策ニ腐心シ居リシガ圖ラズモ昭和七年十月恩賜醫療救護ニ依リ出張診療所ヲ開設セラレ村民ノ喜ビ一方ナラズ診療所ニ殺到スル患者多數ヲ算スルニ至レツ救療醫モ痛ク感奮シ熱心其ノ職ニ當リ居レバ其ノ效果極メテ顯著ニシテ以來不順ナル不良ノ轉歸ヲ見ルコト殆ド之ナキニ至リ依テ村當局初メ村民ハ此ノ不便ナル山村ニ垂レ給ハル鴻恩ノ無邊ナルニ感泣セリ殊ニ其ノ最モ著明ナル實例トシテ同村字支倉佐○今〇三〇同佐○又〇郎同佐○な〇方ニ急患者發生ノ際診療該當日ニアラザルモ救療醫ハ好感ヲ以テ應急往診ヲ爲シ厚キ手當ヲ施シタレバ效

果忽チ顯ハレ家人及親戚ハ勿論村民ニ至ル迄是全ク聖恩ノ有難ニ依ルモノナリト感泣シ又感激シタリトノコトナリ。

##### 天恩ニ跪キ謝辭ヲ述ブ

伊具郡丸森町字羽出庭及字欠入ノ兩地ハ福島縣ニ隣接セル僻陬ナル山間部落ニシテ開業醫ノ所在地迄二里半ノ遠距離ヲ有シ醫師ノ招聘ニハ駄馬ヲ利用スルヲ常トス故ニ醫師一回ノ往診料ハ拾圓内外ヲ要スト謂フ町内唯一ノ難部落ト稱サレ居ル處ニシテ年々多額ノ醫療費ヲ支拂フ有様ナレバ資力ニ乏シキ家庭ニ於テハ頻死ノ重態ニアラザル限リハ容易ニ醫療ヲ施サザルヲ常トセリ又醫師ヲ招クニ付テモ親戚知己ニ相圖リ初メテ之ガ決行ヲ爲ス等其ノ情寔ニ憫然ナル者アリ然ルニ昭和七年十月恩賜醫療救護ニ依リ巡回診療所ヲ開始セラル、ヤ部民ノ歡喜一方ナラズ毎回診療所ニ來診スル者多數ニ上リ何レモ天恩ニ感泣シ居ルト謂フ就中之等救療患者ニテ佐〇間〇助（當五十九年）佐〇東〇郎（當四十二年）ノ兩名ノ如キハ何レモ死ヲ免レガルモノト觀念シ居リシニ本春以來巡回診療所ニ於テ引續キ治療ヲ受ケテ次第ニ快方シ今ハ家事ノ手傳ヲ爲ス迄ニ至リ此ノ喜ビヲ滿面ニ湛ヘ巡回診療ノ都度醫師其ノ他ノ係員ニ對シ聖恩ニ跪キ感泣シテ謝辭ヲ述べ居ルトノコトナリ。

##### 老患者治癒ノ奉告

亘理郡吉〇村ハ從來ヨリ開業醫居住シタルコトナキ一薄弱村ニシテ村民ノ大半ハ疾病ニ罹ルモ餘程ノ重患ニアラザレバ醫師ノ診察ヲ受クルコトナキニ依リ罹患死亡共ニ他町村ニ比シ著シク高率ヲ示シ村當局ニ於テモ放任シ難キ事象トシテ對策考究中昭和七年十月恩賜醫療救護ニ依リ巡回診療所ヲ設置シ診療シ來タルガ同八年十二月出張診療所ニ變更セラレタリ從來診療ヲ受クルコト能ハザリシ者モ容易ニ受療シ得ラレ爲メニ救療患者多數ニ上リ擔任救療醫モ亦忠實勤勉丁寧懇切ヲ以テ取扱ヲ爲シ居ル爲メ異常ノ成果ヲ收メ全快者ハ勿論村民ハ聖恩ノ難有ニ感泣シ居レリト云フ中ニモ同村新丁翰子今〇〇（當七十年）及今村小橋、渡〇庄〇〇（當六十四年）ノ兩老患者ハ全快ニヨル喜ビヲ奉告セント爾來每朝東方ニ向ツテ合掌遙拜シ居ルトノコトナリ。

實施ノ概況

四二

本縣ニ於テハ昭和八年度四萬七千九百二十三圓ノ御下賜金及國費四萬七千八百二十六圓合計九萬五千七百四十九圓ヲ醫療救護費トシテ御配當ニ預リタルヲ以テ前年度ノ救療成績ト縣下ノ實情トニ鑑ミヨリ有意義ナル好成績ヲ收メ以テ聖恩ニ應ヒ奉ラムコトヲ期シ一層周到ナル計畫ヲ樹立シ前掲救療費ノ内三萬七千十七圓ヲ巡回診療費ニ當テ新ニ醫師、看護婦、書記各一名ヲ一班トスル巡回診療班四班ヲ組織各班ニ専用ノ自動車ヲ使用シ開業醫師ナキ交通不便ナル農山漁村六〇箇村ヲ選定十五日乃至二十日二十一回ノ豫定ヲ以テ救療ヲ實施シタリ。

然レドモ會津地方ハ冬季積雪丈餘ニ達シ交通殆ンド杜絕シ自動車ノ使用全ク出來ズ爲ニ診療班員ハ止ムナク徒步ニテ巡回診療ニ從事スルノ關係上一ヶ村ノ診療ニスラ數日ヲ要スルノ狀況ニアリ診療不可能ナルヲ以テ之等雪害地タル大沼耶麻南會津ノ三郡ノ内特ニ十二箇村ニ對シ便宜當該郡師醫師會員ニ出張診療方ヲ委託救療ヲ實施シタル結果縣直接施行シタル巡回診療及委託出張診療ニ依ル取扱患者實人員四二、九二二人治療延日數二七九、七七九日ニ達シタリ更ニ前掲救療費以外ノ五萬八千七百三十二四也ハ尙一層救療事業ヲ擴充シ之カ徹底ヲ期センガ爲ニ財團恩賜濟生會ヲ通シ縣醫師會ト契約ノ下ニ各郡市ノ開業醫師ニ一般委託診療ヲ開業醫師ナキ農山漁村五〇箇村ニ對シ委託出張診療ヲ施行セシメタル外更ニ縣醫師會ニ對シ歯科醫師ノ委託診療竝ニ薬剤師カ醫師ノ處方箋ニ依ル調劑及產婆ノ助產等一切ヲ引受ケシムル等普ク救療ノ方途ヲ講シタリ。治療券ハ前年度同様警察署警部補派出所、巡查部長派出所、巡查駐在所、市役所町村役場、共濟委員等ヨリ之ヲ交付ナシタリ、其ノ取扱患者ハ實人員一八、三二九人治療延日數二〇五、四六七日ナリ。

一方恩賜濟生會救療事業トシテ醫療ノ途ナキ結核患者ハ縣立回春園ニ委託入園救療セシメタリ之ガ取扱患者實人員三三人治療延日數七、二八二日ナリ以上總括スルニ取扱患者總實人員六一、二八四人治療延日數四九二、五二八日ヲ算スルノ實情ニ在リ、困窮セル病患者ハ申スニ及バズ一般縣民ハ唯々聖恩ノ鴻大無邊ナルニ感泣恐懼シツツアリ。

其ノ他特記スベキ事項

本縣ニ於テハ昭和七年九月以降恩賜救護ノ御趣旨ヲ全面的普及徹底ニ努メ本醫療救護事業ニ過誤ナキヲ期スルト共ニ昭和七年度下半期ニ於テハ昭和八年度ノ本事業ノ基礎的準備ニ萬全ヲ期シタリ。

昭和八年度ニ於ケル救療成績左ノ如シ

種別	患者取扱實人員	治療延日數
巡回診療	四二、九二二	二七九、七七九
委託診療	一〇、五八八	一五三、四一九
委託出張診療	七、七四一	五一、〇四八
結核患者ノ救療	三三	七、二八二
計	六一、二八四	四九二、五二八

實人員ヲ百五十萬縣民ニ比較スルトキハ四%強ニ相當スル救療ノ實ヲ擧ゲタルハ恩賜救療ノ趣旨相當普及徹底シタルモノナリト信ズ。

現下ノ時局ニ於テ本事業ガ縣民ニ與ヘタル影響ハ啻ニ農山漁村ノ窮民ヲ救療シタルノミニ止ラズ地方民ノ精神上ニ及ボシタル效果タル到底筆紙ニ盡シ難キトコロナリ本縣ハ東西一六六糸四六九南北一三一糸五九四、面積一三、七八一方糸六二二ヲ有シ管内三市四七町三五七箇村ニシテ區域廣汎農山村多ク從テ開業醫師ナキ村ハ實ニ二一七ヲ算スルノ實情ニ在リ交通不便ナル僻陬ノ地ニ在リテハ山ヲ越ヘ谷ヲ涉リ或ハ積雪丈餘ノ山道ヲ辿リテ行ハルル巡回診療、出張診療ニ於テ醫藥ニ惠マレザル農山村ノ罹病者ハ此ノ有難キ恩賜診療班ノ與フル醫藥ヲ手ニシ熱淚ニムセビツツアルノ狀況ナリ。

之ガ一例ヲ左ニ摘記セん。

一、感謝狀（原文ノ儘）

四三

本月一日東川村巡回診療當日中ノ川村大字芋小屋戸主杉○西○郎婦ミ〇ヨ（當三六年）急病ノ爲メ往診方願出タルヲ以テ往診ヲ請ヒ候處御快諾ヲ得テ往復四里ノ同所ニ御出張下サレ候大野醫師殿ニハ然カモ懇切丁寧種々御診療午後十時過グル迄御手當下サレ御飯宿ナサレタルハ午後ノ十二時ナリ然ルニ翌朝亦又往診方願出候ニ付中川村診療所開始前午前四時半再ヒ同所ニ御出張下サレ候段同家々族ハ勿論地方民一般深ク感謝奉候然シテ當日ハ東川村診療所閉鎖後ニ於テ豫テ願出アル東白村大字四谷ニ往診セラレ小島○内縁ノ妻ト〇（當五〇年）同小島鹿○妻キ〇（當五一年）何レモ要救療者名簿ニ登錄アル者ノ二名ヲ診療御飯所直ニ前記ノ處ニ再ヒ往診セラレシ時雷雨ニシテ道路惡シク然カモ夜中迄御診療被成下候處深ク感謝ニ不堪謹テ奉謝候。謹言。

昭和八年七月三日

福島縣警察部長殿

福島縣大沼郡中ノ村東川村組合役場

### 青森縣實施概況

是ニ報告セシ實施計畫ノ通り<sup>恩賜財團</sup>濟生會ヲ通シ施行セリ本救療ハ委託、出張、巡回診療ノ三種トス。

(イ) 委託診療ハ豫メ決定シアル要救療者ニ救療券ヲ發給シ縣下開業醫ニ醫師會報酬規定ノ半額ヲ以テ診療ヲ委託セリ。

交付シタル救療券數左記ノ如シ

入院券	往診券	外來券	手術券	計
一、一九八	六九六	四、九七四	五八六	七、四五四
自四月十五ヶ村	自七月至十二月七ヶ村	自一月至三月十二ヶ村		
至六月				

(ロ) 出張診療ハ醫師ノ居住ナキ村ニ對シ豫メ決定シアル要救療者ニ救療券ヲ發給シ診療所開設村ノ最寄開業醫ニ一ヶ村一ヶ月三回出張セシメテ診療ヲ擔當セシメリ。

交付シタル救療券ハ二、六六六枚ニシテ診療所開設シタル村數左記ノ如シ殊ニ降雪季及融雪季ニテ交通機關ノ杜絶シタル場合ハ診療當事者ヲ督勵シ完璧ヲ期スルニ努メリ。

自四月十五ヶ村

至六月

至七月

至十二月

七ヶ村

至三月

十二ヶ村

自一月

十五ヶ村

至六月

七ヶ村

至三月

中津輕郡藤代村長報告 吉〇松〇〇（當四十歳）右ハ數年前ヨリ慢性中耳炎ニ罹リシモ素ヨリ家貧窮ニシテ醫療ヲ受クルニ費ナク父死亡母日雇勞働ヲ業トシテ一家五人ノ生活ヲ辛フジテ營ミツ、アリ一家ノ者ハ此ノ本人ヲ唯一ノ家柱ト賴ミ若シ治療セシズテ不具者トモナラバト極度之悲嘆ノ折柄救療券ヲ交付シ入院手術ノ治療一ヶ月ニシテ全治現在ハ別人ノ如ク激瀉タル元氣ニテ家事ニ從事シ居レリ此又甚聖恩ニ依リ不具者黎明モ開カレ此ノ歡喜ニ充チタル情ヲ感泣ニテ顯シ皇居ニ向ヒ家族ノ者一同手ヲ合シ再拜シタル實例アリ。

本救療施行中ノ挿話、佳話、美談、等ノ一端ハ左記ノ通り

### 委託診療

右ハ數年前ヨリ慢性中耳炎ニ罹リシモ素ヨリ家貧窮ニシテ醫療ヲ受クルニ費ナク父死亡母日雇勞働ヲ業トシテ一家五人ノ生活ヲ辛フジテ營ミツ、アリ一家ノ者ハ此ノ本人ヲ唯一ノ家柱ト賴ミ若シ治療セシズテ不具者トモナラバト極度之悲嘆ノ折柄救療券ヲ交付シ入院手術ノ治療一ヶ月ニシテ全治現在ハ別人ノ如ク激瀉タル元氣ニテ家事ニ從事シ居レリ此又甚聖恩ニ依リ不具者

トモナラズ全快シ身ヲ樹テ家ヲ興ス事ヲ得タルハ只管 皇恩ニ對シ奉リ希ハ立派ナ體格ノ持主トナリ徵兵検査ヲ受クル前ニ志願シテ軍人トナリ身ヲ國ニ捧げ萬分ノ一ニテモ報ヒ奉ラコトヲ少年ナガラモ此ノ美シキ精神ヲ表示セリ殊ニ其ノ祖母ノ如キハ 皇恩ノ有難キヲ語ルニ感激涙ヲ以テ斯聞ク者ヲシテ感涙ノ情禁スルヲ得ザル態ナリ。

右ノ青年ハ當家ノ戸主トシテ家族ノ者ハ一家ヲ支持スルニ唯一ノ賴ミトシテアルモ七、八年前ヨリ脊椎カリエスニ罹リ當時ハ貧困ナガラモ辛フジテ自費ヲ以テ醫療ヲ受ケアリシガ素ヨリ窮民ノ爲醫療ヲ持續シ得ズ病症ノ昂アルニ任カセ唯室内ニ呻吟シアルノミ同家ハ漁業ノ手助（日雇的ノモノ）ヲ爲シ辛フジテドフニカ生活シアルモ益々貧困ニ陥リ神カケテ病治癒ヲ祈ルノミニテ此ノ上ハ一家ノ悲ミ極度ニ達セシ折柄偶々恩賜救療施設ヲ聞クヤ役場ニ跪坐シテ願出デタリ依テ救醫券ヲ交付シ入院手術ノ治療ヲ三ヶ月ニ亘ル治療ヲ爲サシメシ處快癒シ現在室内ノ輕易ナル勞働作業ニ從事シ得タルハ本人ハ勿論家族ノ者治癒難病ナル此ノ疾病ヲ不具ニモセズ治癒セシメタルハ是偏ニ大御心ノ厚キ御恩澤ナリト家内一同感泣シ何カ報國ノ仕事アル場合ハ乍不及モ命シ下サル様伏テ感激ノ情ヲ現セリ。

#### 西津輕郡川除村長報告

當 村 住 民 當四十六歲

右ノ者梅毒性疾患ニ罹リ步行自由ナラザルモ醫療ヲ受クル事少ク不具同然加フルニ一家ハ殆ド無財産同様妻モ亦病弱ニシテ生計ヲ立テルニ賴ム力無ク偶々親類ノ者ヨリ生活材料ヲ恵マレ口糊ヲ辛フジテ凌ギアルモノニシテ救療券ヲ交付シ注射其ノ他手厚キ醫療ヲ夫婦ニ受ケセシメシ處約二ヶ月餘ニシテ全快シ現在ニアリテハ勞働ニ堪ヘ得ルニ至レリ死ヨリモ苦ルシキ此ノ永年ノ病苦ヨリ救ハレ光明ヲ得タル厚キ 御聖恩ハ洵ニ言語ニハ盡シ難キモノナリト又光輝アル聖代ハ此ノ如キ御慈悲深キ救療施設致サレ此ノ宏大ナル大御心ニ對シ奉リ夫妻共ニ拜跪感涙シ皇居ニ向ヒ再拜セシ事例アリ。

#### 山張診療及巡回診療

#### 三戸郡猿邊村長報告

本村ハ文化ニ遠キ山間幽谷ノ地ニシテ交通不便地理的環境ニ依リ殊ニ醫療上ノ施設ハ縣下ニ於テモ恵マレザルコト恐ラク第一位ナラム隨ツテ本村住民ノ傷病者ハ醫療ヲ受クルニ莫大ナル費用ヲ要スルヲ以テ殆ンド重態ニ至ラザレバ醫師ノ診療ヲ求メザルノ状態ニシテ徒ラニ人命ヲ短縮スルガ如キコトナシトセズ況ニ財政上ノ窮迫深刻ナル村民ノ三割ハ日々ノ口糊ニモ容易ナラザルモノニシテ所謂貧困ハ疾病ヲ增長スルノ状態ニテ其ノ實情又慘タルモノアリ然ルニ今回ノ醫療救護施設ハ之等無告ノ病者ヲシテ救療セラレ且出張診療又ハ巡回診療ヲ施行セラレシハ如何ニ村民一同ヲシテ皇恩ノ優渥ニ感激ヲ與ヘシメタルカハ診療所ニ於ケル受診者ノ嚴肅且ツ謹ミテ醫療ヲ受ケツツアル情況ヲ以テスルモ其ノ感激措ク能ハザル真劍味ノ一端ヲ窺フニ足ル受診者ニテ六十歳ノ坂ヲ越シテモ疾病ニ罹患シナガラ嘗テ醫療ヲ受ケシコト無キモノアリ或ハ又醫師ノ診療ヲ受ケタルニヨリ今後何時死シテモ心残リ無シト云フモノアリ此ノ状態ヲ目撃シタル村有志者會合シ報告ノ一端トシテ祭日ハ勿論國旗ヲ掲ゲル場合ハ必ズ戸毎是ヲ實施シ皇威ノ益々發揚ヲ祈ルコト又村ノ公共的勞働ヲ要スル事業ニハ協力一致自發的事ニ當ルヲ約セリ。

#### 山形縣

#### 實施ノ状況

昭和八年度ニ於テモ亦前年度計畫ニ依リ醫療救護御下賜金三萬四百圓並醫療救護國庫交付金三萬四百圓計六萬八百圓中金四萬二千圓ヲ恩賜財團濟生會ニ委託シ其ノ救療方法ニ依リ之ヲ行ハシメ殘額金一萬八千八百圓ニ縣費金二千圓ヲ加ヘ計金二萬八百圓ヲ以テ縣ハ巡回診療ヲ實施セリ、其ノ方法左ノ如シ。

巡回診療ニ就テハ本縣振興委員救療事業部ノ協議ヲ經テ左記村ヲ實施スルコトヽセリ。

#### 一、實施村名

南村山郡 東村  
東村山郡 中村  
東村山郡作谷澤村

西村山郡本道寺村  
北村山郡福原村  
北村山郡龜井田村  
最上郡古口村  
最上郡及位村  
南置賜郡中津川村  
東置賜郡金山村  
西置賜郡津川村  
西置賜郡南小國村  
東田川郡立谷澤村  
東田川郡大泉村  
西田川郡山戸村  
他海郡大澤村  
他海郡上郷村  
他海郡飛島村  
西村山郡大井澤村  
北村山郡高崎村  
最上郡鮎川村  
南置賜郡萬世村  
東置賜郡二井宿村  
西置賜郡北小國村  
西置賜郡平野村  
東田川郡清川村  
西田川郡福榮村  
他海郡日向村  
他海郡西遊佐村  
他海郡飛島村

## 二、被救療者ノ資格及決定方法

現ニ罹病シ醫療ノ途ナキ者ニ就キ當該村振興委員會委員、警察官、方面委員、區長其ノ他ト協力調査シ村長之ヲ決定ス。

## 三、巡回診療班ノ組織

三班トシ各班ニ醫師薬剤師看護婦及事務員各一名又ハ二名ヲ以テ組織ス。但シ被救療者ノ數ニ依リ増減ス。

## 四、巡回診療實施日程

本縣ノ降雪及交通ノ狀況ヲ考慮シ年度内ニ選定村ヲ實施セリ。

## 五、醫師會其ノ他ノ團體ノ援助及活動

本縣醫師會本縣藥剤師會々員ハ犠牲的精神ヲ以テ參加シ聖恩ニ酬ヒ奉ルベク努力シツ、アリ亦被療者モ聖恩ニ感涙シ居ル状況ニシテ村當局關係者ハ勿論警察官方面委員學校職員男女青年團員其ノ他各種團體員有力者診療所ニ自ラ出頭シ事務ヲ援助シ或ハ受療者ノ受付案内送迎其ノ他ノ設備ニ努メタリ。

## 六、巡回診療成績左ノ如シ

診療者實人員	一三、九三三人
診療者延人員	七〇、二二四人
往診實人員	一二九人
投藥セル實人員	一三、三六七人
處置セル實人員	二、四八六人
連續服藥ヲ要スル者交付シタル處方箋數	二、五二〇人
病類別ヲ見ルニ左ノ如シ	
消化器疾患	三、一二八人
神經系疾患	四、三三四人
呼吸器疾患	一、一五八人
傳染病及寄生蟲病	一、〇二三人
レツマチス性疾患	八九一人
不明共ノ他	三、五〇九人

參加セル醫師	八三人
實人員	三五七人
延人員	六九人
參加セル藥劑師	四六一人
實人員	六九人
延人員	三三五人
參加セル看護婦	六九人
實人員	六九人
延人員	八三人

### 七、巡回診療實施ノ効果

- (1) 一般保健衛生ニ關シテハ近時社會ノ進展ト共ニ其ノ緊要ヲ認メラレツ、アリシモ特ニ今回恩賜救療實施ニ依リ醫療ノ必要ヲ認メラレ醫師ノ常置醫療組合實費診療所助產組合等救療事業ニ關シ町村ニ於テ考究シ之ガ實施對策ニ出デントスル傾向ナリ。
- (2) 巡回診療ヲ實施セル農漁山村ハ僻陬ノ地ナルヲ以テ往診ニハ多額ノ經費（一回約五十圓）ヲ要スルヲ以テ診療ヲ受クルハ容易ナラザル土地ナリ特ニ經濟界ノ不振ニ伴ヒ病ニ苦シミ勞働ヲナス能ハズト雖診療ヲ受ケ得ザリシ時今回ノ恩賜救療實施セラレ之等土地ニハ嘗テ行カザリシ醫學博士其ノ他公私立病院ノ醫師等地方ニ於テ信望高キ醫師ノ參加ヲ得診療ニ從事セルヲ以テ地方民ノ喜ビ言語ニ盡シ難ク唯々聖恩ノ洪大ナルニ感泣シ全治セル者ハ更生ノ途ヲ得聖恩ニ酬ヒ奉ルベク努力シツ、アル實情ナリ。

恩賜  
済生會委託診療實施概況

### 其ノ他特記スベキ事項

- (イ) 昭和八年度ニ於テハ本縣ニ對シ四萬四百五圓ノ配當アリ縣ニ於テハ事業實施ノ萬全ヲ期スル爲義ニ設置セル振興委員會救療部會ヲ開催慎重協議ヲ遂ゲ七年度同様之ガ聖旨ノ普及徹底ニ努ムルト、同時ニ七年度ニ於ケル事業計畫ノ一部ヲ變更其ノ計畫要綱ヲ定メ一面縣醫師會トモ略前年度ト同様ノ醫療報酬其ノ他ニ關スル契約ヲ締結シテ聯絡協調ヲトリ更ニ四月初旬管内各警察署主任者ヲ召集シ事業實施ニ關スル指示注意ヲ爲シ又各警察署ニ於テハ夫々管内市町村當局事務主任者ノ會合ヲ求メ協議打合セラ爲ス等事業實施上萬遺憾ナキヲ期スル事ニ努メタリ。
- (ロ) 事業實施ニ當リテハ縣當局、縣醫師會、警察署長、市町村長並ニ方面委員其ノ他各關係團體等良ク事業實施ニ關スル趣旨ノ徹底ニ努メ誠意事ニ當リタル結果其ノ成績極メテ良好ニシテ被救療者ハ悉ク聖恩ニ感泣シ居ル狀況ナリ。
- 尙一面豫算ノ經理ニ當リテハ細心ノ注意ヲ拂ヒ事務費ハ出來得ル限り節約スルコトニ努メ昭和七年度（自昭和七年十月一日至八年三月六ヶ月間）ニ於ケル事務費五百拾參圓ニ比シ八年度ハ七百九十五圓ノ少額ニ止メ他ハ凡テ診療費ニ充當スル等豫算執行ニ當リテハ實ニ最善ノ努力ヲ拂ヒタルモノナリ。

### 寶施ノ概況

#### 一、委託診療

醫療ヲ受クルコト能ハザルモノニ對シ市町村當局警察官吏方面委員ニ於テ調查シ協議ノ上要救療者名簿ニ登錄セラレタルモ

ノニ對シ一般開業醫師ニ委託無料ニテ診療セシム。

## 二、出張診療

僻陬ノ地ニシテ醫療設備ナキカ又ハ設備アルモ地理的關係ニヨリ醫療ヲ受クルニ困難ナル四十個村ニ對シ一ヶ月三回以上地方開業醫師ヲ出張セシメ主トシテ要救療者名簿ニ登録セラレタルモノヲ診療セシム。

## 三、委託助産

要救療者名簿ニ登録セラレタル產婦ニ對シ一般開業產婆ニ委託無料ニテ助産セシム。

## 四、巡回產婆

開業產婆ノ居住セザル四十四個町村ニ對シ十九名ノ開業產婆ニ委託一ヶ村ヲ隔月毎ニ巡回セシメ妊娠ニ對スル攝生並育児ニ關スル注意指導ヲナサシメ分娩ニ遭遇シタルトキハ助産セシム。

## 五、施藥

醫療設備ナキカ若クハ設備アルモ地理的關係ニヨリ醫師ノ來診アル迄ニハ相當ノ時間ヲ要スル僻陬地ニシテ常ニ醫療ニ恵マレザル五十個村ニ對シ應急用藥ヲ配付ス。

## 其ノ他特記すべき事項

昭和八年度ニ於テ救療ヲ爲シタル患者ハ實人員一萬八千四百二十二人治療延人員二十萬一千五百九十九人ノ多數ニ達シ是等救療ヲ受ケタル者ハ何レモ赤貧ニシテ醫療ヲ受クルノ資力ナク或ハ多少ノ資力ヲ有スルモ永キニ亘ル病苦ノ爲メニ消費シ空シク病癒ニ呻吟セルモノ或ハ山間ノ僻地ニシテ醫療ヲ受クルノ途ナキモノ等ニシテ恩賜醫療救護施設ニヨリ機宜ノ醫療ヲ受ケ又ハ醫藥ヲ求ムルヲ得ルニ至リ久シキニ涉ル難患モ急激ニシテ重篤ナル疾患モ幸ヒニ治癒シ或ハ輕快シタルモノ枚舉ニ遑アラザル狀況ニシテ御聖旨ヲ拜シ何レモ御仁德ノ厚キニ感激シ居レリ左ニ挿話トモ言ベキ四五ノ事例ヲ摘錄ゼン。

其ノ一

秋田縣北秋田郡大館町部垂町  
建具職 千 ○ 福 ○  
(當三十九年)

一、資產ハ僅ニ雨露ヲ凌グニ足ルベキ堀立小屋同様ノ住家一棟ヲ有スルノミニテ敷地ハ他人ノ所有ニシテ一ヶ月二圓宛ノ地代金ヲ支拂フモノナリ。

一、家族妻キ○當三十三年ハ產後右足ヲ病ミ步行自由ナラズ長女ヒ○九年長男正○七年ハ共ニ小學校生徒ニテ四人家族ナリ。

一、福○○ハ建具職ヲ營ミ職業ニハ極メテ熱心ニテ左足跛行ナルニモ不拘再度東京及横濱地方ニ出稼ギヲナシ五百圓餘ノ醫財ヲ有スルニ至リ努力家トシテ一般ニ稱揚セラレ生活上ニハ何等ノ不足ナク暮シ居リタリシガ昭和七年秋頃ヨリ右足骨髓炎ヲ病ミ歩行サヘ容易ナラザル有様トナリ一ヶ年餘モ徒食シタルモノナレバ醫財ノ全部ハ藥價其ノ他ニ消費シ最近ニ於テハ一匣ノ收入サヘナク日々ノ生活ニモ窮スルニ至リ實兄八十八ハ多少ノ援助ヲ與ヘタルモ之レトテモ約三反步計リノ小作農ニテ多數ノ家族ヲ有シ辛フジテ生活ヲナスモノナレバ尙ホ助力ヲナスベキ餘力ナク附近住民ノ同情モ永續スペキ筈ナク福○○一家ノ困難ハ益々深刻ヲ加フルニ至リ此ノ事情ヲ知リタル受持巡查山田藤一郎ハ方面委員ト協議ノ上救護券交付ノ手續キヲ爲スト同時ニ大館病院ニ入院加療セシメ家族ニ對シテハ役場ヨリ飯米ヲ給セラル、コト、ナリ最近手術ノ經過日ニ増シ快方ニ越キ本人ハ勿論一家ノ喜ビ此ノ上ナク只管聖恩ノ鴻大ナルニ感激シ居レリ。

其ノ二

秋田縣仙北郡大曲町字達沼  
高 ○ 賢 ○  
(當十九年)

一、資產ハ粗末ナル住家一棟ヲ有スルノミニテ親族中ニモ援助ヲナスベキモノナシ、

一、家族ハ母フ○五十二年ト二人家族ナリ。

一、賢○ハ電氣器具ノ行商ヲナシ辛フジテ生活ヲナスモノナルガ近時不況ノ爲メ賣レ行キ思ハシカラザル爲メ昭和八年七月愛知縣寶飯郡原町「マニラトワイン」製造工場ニ出稼ギヨナシ三ヶ月計リニシテ病氣ノ爲メ歸郷シ診斷ヲ受ケタルニ肺尖加答兒ニテ今ニ於テ治療ヲナスニアラザレバ重態ニ陷ルノ虞レアリト申渡サレタルモ其ノ日ノ糧ニサヘ窮スルノ有様ニテ他ニ援助ヲ受クベキ親族トテモナク病勢日ニ増シ悪化スルモ治療ヲ受クベキ途ナク心痛ノ餘母フ○ハ毎夜八幡神社ニ病氣平癒ノ祈願ヲナシ居ルコトヲ知リタル役場當局ハ受持巡查ト協議ノ上恩賜診療救護券ヲ交付シ本年一月中秋田赤十字支部病院ニ入院一ヶ月間加療セシニ近時著シク快方ニ向ヒ此ノ分ニテハ今一二二個月ニシテ全治スペシト主治醫ノ語ル所ニテ本人ハ勿論母フ○ノ嬉ビ一方ナラズ只管皇恩ノ無量ナルニ感激シ必ズ健康體ニ復シ現役軍人ヲ志願シ聖恩ノ萬分ノ一二酬ヒ奉ランド母子ノ間ニ語リ合フモノナリト云フ。

共ノ三

秋田縣鹿角郡曙村長井田  
戸主製炭業主 澄○鶴○

（當四十六年）

一、資產住家一棟ヲ有スルノミニテ其ノ他何物モナシ。  
一、家族妻サ○當四十一年長男清○○（當二十二年）二男○治（當十九年）三男○市（八年）小學校生徒ノ五人家族ニテ長男清○○ハ○病患者ニシテ一切勞働ニ堪ヘズ。

一、前記鶴○ハ毎日未明ヨリ二里以上ノ深山ニ至リ製炭ヲ業トシ辛フジテ生活スルモノナルガ昭和八年七月頃ヨリ腹膜炎ヲ病ミ勞働ヲナス能ハザルニ至リ爲メニ家計益々困難ニ陷リ醫療ヲ受クルノ資力ナク殊ニ醫師ノ來診ヲ求ムルニハ多額ノ費用ヲ要シ到底其ノ見込ナク止ムヲ得ズ傳說ニヨル草根木皮等ニヨク僅カニ病苦ヲ慰ムルノ外他ニ治療ノ途ナキニ至リシガ昨年中ヨリ同村ハ恩賜醫療救護出張診療村トシテ指定セラレ、鶴○ノ居住部落ヨリ一里計リノ部落ニハ毎月三回以上醫師出張スルコト、ナリタルニ付駐在巡查ハ本人ノ事情ニ同情シ役場當局ト協議ノ上恩賜醫療救護券ヲ交付シ醫師出張ノ都度往診ヲ受



秋田縣平鹿郡山内村

戸主三〇郎長女日雇 藤○ヨ○

一、資產住家一棟ヲ有スルノミニテ地代金一ヶ年十二圓ヲ支拂フモノナリ。

一、家族ハ父三〇郎當六十二年夫鶴○當三十三年妹キ○當十三年ノ四人家族ナリ。

一、昭和七年頃迄ハ他人ノ田地五反歩餘ヲ小作シ相當ノ生活ヲナシタリシガ、小作米不納ノ爲メ小作田地ハ地主ニ返還スルノ止ムヲ得ザルニ至リ現在ニ於テハ夫鶴○ノ日雇稼ギニヨリ辛フジテ生活スルモノナルガ昭和八年九月中ヨリ前記ヨ○ハ腹膜炎ヲ服用シ僅カニ病苦ヲ慰スルノ外ナキ事情ヲ知リタル受持巡查ハ役場當局ト協議ノ上恩賜醫療救護券ヲ交付シ醫學博士海輪十二ノ治療ヲ受ケタルニ一ヶ月餘ニシテ全ク健康體ニ復シ家業ニ從事シツ、アルモノニシテ聖恩ノ洪大無邊ナルニ感激シ過般受持巡查ハ病狀觀察トシテ同家ヲ訪問シタル際ノ如キハ一同感涙ニ咽ビテ感謝ノ意ヲ表シ更正ノ意氣ニ燃ヘ家業ニ専念シツ、アリ。

共ノ四

秋田縣南秋田郡船川港町

戸主三〇郎長女日雇 藤○ヨ○

一、家族ハ夫竹○（當四十八年）日雇長女ア○ノ（當十一年）五男雄○（當七年）六男三〇（當四年）ノ五人ナリ

一、本人ノ家庭ハ無資產ニシテ借家住居ヲナシ夫竹○ノ日雇稼ギニヨリ辛フジテ生活スルモノナルガ本月一月頃ヨリ前記ノ○

五五

ハ身體ニ異状ヲ覺へ歩行サヘ容易ナラザルニ至リ診察ヲ受ケタルニ子宮外妊娠ナルヲ以テ手術ヲナスニアラザレバ、一命ニモ係ルコトアリト申渡サレタルモ其日ノ生活サヘ容易ナラザル状態ニテ多額ノ手術料ヲ支拂フベキ餘力ノアルベキ筈ナク生家ナル實兄佐○徳○郎ニ對シ病氣治療ヲナスニ付相談ヲナシタルモ之レトテモ其ノ日ノ暮シニモ容易ナラザル有様ニテ此ノ儘放任スルトキハ空シク死ヲ待ツ計リナルコトヲ役場ニ申出デ恩賜醫療救護券ノ交付ヲ得土崎港町杉山醫院ニ入院手術ヲナシタルニ輕過良好ニテ日増シ快方ニ趣キ昨今ニ於テハ己ニ全治ニ近キ程度ニ快復シ一家ノ嬉ビ此ノ上ナク皇恩ノ無量ナルニ感激シ夫竹○ハ消防組員ニテ職務ヲ精勵シ以テ皇恩ノ萬分ノニ酬ヒ奉ランコトヲ語リ居ルモノナリト云フ。

### 福井縣

#### 實施ノ概況

昭和八年度ニ於テモ本縣へ御下賜金壹萬參千四百拾貳圓拜受シ之ニ國庫補助金壹萬參千百九拾六圓配當ヲ受ケ縣民一般聖旨ニ感激シ一定ノ計劃豫算ヲ以テ醫療ノ資ニ乏シキモノニ對シ警察署長市町村長ノ協調ノ上縣内公立病醫院へ一般診療ヲ委託シ本縣ノ醫療機關トシテハ縣下六十一ヶ村即チ三分ノ一ノ醫師ノ居住セザル村アリ其内一里内外ニアル三十九ヶ村へ最寄醫師ヲ一ヶ月六回定期出張診療ヲ行ハシメ又極メテ交通不便ニシテ出張診療困難ナル僻陬地村中七ヶ村ニ對シテハ縣ヨリ毎月三回定期巡回診療ヲ行ヒタリ此ノ實施シタル取扱患者數ハ實人員五、三六八人延人員七四、一三六人ニシテ窮民救療ニ多大ナル實績ヲ擧ゲツツアリ。

#### 其ノ他特記スペキ事項

恩賜醫療救護ノ概況ハ以上ノ通りナルガ被救護者ハ何レモ管内ニ於ケル貧困者ニシテ從來殆ンド醫療ヲ受クルニ困難ナリシ者ノ大多數ニシテ僅カニ賣藥等ヲ利用シ居タリシ者及交通不便ノ山間又ハ漁村ニシテ醫療ニ恵マレザリシ者等長年月間精神的ニ甚大ナル苦痛ヲ體験シ來リシ者ナルガ今次ノ聖恩ニ浴スルヤ只管感泣シ全快者ハ國家非常時ノ此際猶一層奮勵努力洪大無邊ナル聖恩ノ萬分ノ一タリトモ報ヒ奉ラント各々業務ニ精勵シ居ル實情ニシテ細民ノ救護成績ハ實施二ヶ年ノ今日其ノ效果絶大ナルモノアリ更ニ醫師達ニアリテハ斯ル事業ニ參加スルハ無上ノ光榮トシ誠意治療ニ當リ醫療上何等懸念スルトコロナシ。

猶恩賜醫療救護ニ關スル挿話ニ三ヲ摘錄シテ聖恩ノ深キニ感激スル次第ナリ。

#### 其ノ一

坂井郡長畠村 中 ○ ま ○ 當十八年  
右ハ五ヶ年前實母ニ死別シタリシガ當時一家ノ柱石タル父政吉ハ喘息ニテ病床ニ臥シ尙幼少ナル弟二名アリテ赤貧洗フガ如ク一家將ニ飢エムトスルノ状態トナリシヲ當時僅カ十四歳ノ少女ノ身ヲ以ツテ進ミテ機業女工トナリ勤務ニ從事シ過勞ノ爲幾度モ倒レムトスルヲ耐エ忍ヒテ病メル父政吉ヲ慰メ且ツハ弟ヲ助ケテ漸ク一家ヲ持續シ生活ヲ支ヘ來リシガ今日ニテハ弟一名ハ小學校ヲ卒ヘ本人ト共ニ職工トナリ勤キツツアリ。一方父政吉ハ醫療ノ道ナカリシヲ昨年ヨリ恩賜醫療ヲ受クルヤ漸次快方ニ向ヒツツアリテ聖恩ノ忝ケナサニ深ク感激スルトトモニマ〇〇ノ孝養ニツキテ左ノ如ク語リツツアリ。

政吉ハ未ダ五十歳ナルモ持病ノ喘息ニテ勤ク事能ハズ妻ニ死別セシヨリ三人ノ幼兒ヲ擁シテ生活ニ窮シ將來ヲ憂ヒテ自殺ニ思ヒシ事幾度モアリシカ十四歳ノマ〇〇ハ焦慮スル政吉ヲ慰メ幼キ弟ヲ助ケテ五年間生活ヲ支ヘ現在政吉モ有難キ御聖旨ニ依リ快方ニ向ヒツツアリ生計モ漸ク不安ヲ脱シタルハ之皆尊キ聖恩ノ御惠ト娘マ〇〇子ノ孝養ニ依ルモノナリト語リツツアリア附近住民皆感動シツツアル次第ナリ。

#### 其ノ二

坂井郡坪江村 中 ○ ま ○ 憲 當二十七年  
昨年京都驛ニテ吳海兵團入團兵遭難ノ際骨折シ歸郷治療ヲ命セラレタルモノナルガ家庭貧困ニシテ治療ノ資力ナキヲ以テ恩賜醫療ヲ受クルニ至リシガ療養ノ結果全治シ本年更ニ徵兵検査ヲ受クルニ甲種ニ合格シ國家多事ノ際聖恩ノ御惠ニ再び兵役ニ服スルハ無上ノ喜ニシテ此ノ上ハ一層奮勵努力聖恩ノ萬分ノニテモ報ヒ奉ラム所アラムト家族共々感激ノ餘リ所管警察署へ感謝ノ書狀ヲ郵送セルモノナリ。

#### 其ノ三

坂井郡大野町春日 宮 静 當二十七年  
右ハ家族九人暮ニシテ兩親ハ老衰シ妻及姉妹達ハ工場ニ通ヒ本人ハ小作農ノ傍京都市伏見ノ酒造業ノ倉男トシテ出稼ヲ爲シ

幸シテ生計ヲ營ミ居ル者ナルガ今冬モ之ガ出稼中不幸病ヲ得肋膜炎ト診断セラレ本年二月末歸郷引續キ病臥セル爲貧困ノ一家更ニ其ノ度ヲ加ヘ醫療ヲ受クル事能ハズ家人皆其ノ慘状ニ泣キ世ヲ啞チ居タル所駐在員ノ戸口調査ニ際シ其ノ窮情ヲ知リ恩賜醫療ヲ受クル道アルヲ教示セルニ再生ノ思ヒテ大野町役場ニ付之カ手續ヲ受ケ同町西川醫院ニ二十日ノ入院治療退院後更ニ二十日間ノ診療ヲ受クルニ現在ハ殆ンド全快シ田畠ニ出デテ農務ニ從事シ得ルノ状態トナリタルコトトテ聖恩ノ廣大無邊ナルニ感泣シ貧窮ノ中ニモ一道ノ光明ヲ見出シタル如ク只管感激ノ涙ニ咽ビツツアリ。

## 其ノ四

右ハ盲腸炎及急性腹膜炎ヲ患ヒ一時其ノ生死サヘモ危マレタル程ノ重態ナリシモ家貧困ニシテ醫療ヲ受クル能ハズ悲惨ナル状態ニアリシガ恩賜醫療救護券ヲ受クルヤ直ニ最寄ノ醫師ノ治療ヲ受ケタル所漸次快方ニ赴キ現今ニテハ全ク健康體トナリ聖家業ニ精勵シシリ朝夕皇居ヲ拜シ只管聖恩ノ有難ナニ感泣シツツアルモノナリ。

## 其ノ五

敦賀郡愛發村市橋農業 田 ○ 畜産 ○ 畦當三十三年

右ハ一昨年五月夫ニ死別シ爾來女一人ノ勞働ニ依リテ漸ク養父市○七十五年及十三年ヲ頭ニ幼兒三人ヲ養育シ居リシ處昨年九月一家ノ柱石タル前記し○ハ脊髓病ニテ病床ニ呻吟スルニ至リタルモ醫療ヲ受クル資力ナク家族忽ニ路頭ニ迷フノ悲慘ナル状態ニ至リシガ受持巡查ノ教示ニ依リ同月敷賀病院ニ入院恩賜醫療ヲ受ケタル處本年二月全治退院シ目下健康體トナリ聖恩ノ有難ナニ感激シツツアリ本人ハ勿論家族全部カ家族相和シ家業ニ精勵相共ニ勤儉貯蓄以テ聖恩ノ萬分ノ一タリトモ報セ奉ラムト勤メツツアリ。

## 石川縣

## 實施ノ概況

昭和八年度ニ於テハ前年度ニ於ケル實施方針ニ基キ之ヲ委託診療 出張診療トニ大別シ石川縣醫師會並縣内ニ於テ開業セル歯科醫師藥劑師産婆ニ委嘱シ助產以外ハ治療券制度ニ依リタリ。

要救護者選定ニ關シテハ前年度ニ於テハ之ヲ郡部ニ於テ戸數割一戸平均額ノ五割以下ニシテ醫療費ニ窮スルモノトシタルモ本年度ニ於テハ前年度ノ實施状況並ニ他府縣トノ均衡ヲ考慮シ之レヲ戸數割一戸平均額ノ四割以下ノ者ニ付救護ノ範囲ヲ縮少セシメタル結果要救護者戸數二〇、二八二戸人員八九、五二六人トナリ前年度ニ比シ戸數ニ於テ六、四三一戸人員ニ於テ三一、九〇〇人ヲ減少シタリ之ヲ縣下郡部戸數並人口ニ比スルニ戸數ニ於テ一四・四%人口ニ於テ一七・一%トナル。

治療券ハ恩賜治療券、恩賜入院治療券、恩賜調剤券ノ三種類トシ豫メ之ヲ町村長ニ要救護者數並前年度患者へ交付状況等ヲ參酌シ之ヲ按分配當シタリ。

恩賜治療券ニ依ル本年度救護状況ヲ見ルニ前年度ヨリモ要救護者ニ付縮少セル結果前年度ノ情勢ニ依リ救護範囲ノ縮少ノ趣旨不徹底ニ陷ルコトナキ様銳意町村ニ於ケル治療券交付ヲ監督シ以テ事業ノ經理ニ當リタリ然ルニ十二月中旬以降、降雪量極メテ多ク山村方面ノ交通殆ンド杜絶スル状況ニ到リ醫師ノ診療ヲ受クルコト亦困難ニシテ治療患者數激減セントスル徵候アリシヲ以テ二月ニ於テ社會課員ヲシテ特ニ山間僻陬村並取扱不成績ナル町村ヲ選ビテソノ實施状況ヲ審査セシメ救護實施ニ付指導徹底セシムルニ努メタリ。

元來治療券制度ノミニ依ル救護ハ地理的、天候等ノ關係ニテ患者ノ不便トスルトコロ多キニ鑑ミソノ対策ニ付考究ヲ要スルモノアリ豫而ソノ方法ニ付研究シツツアリタルニ適々本年ハ稀有ノ降雪ニシテ山間ノ交通殆ンド杜絶セル状況ヲ呈シ救護ヲ受ケントスルモノ不便甚シキ實情ニ鑑ミ本年一月ニ入リテ急遽救護藥ノ配付方針ヲ立案シ山間僻陬村三十村ニ付左記十種藥ヲ石川縣藥劑師會ヲシテ之ガ調製ヲナサシメ配付セリ然ルニ多量ノ救護藥數ニシテ調剤其ノ他ノ準備ニ時日ヲ要シ年度内ニ於テ之レガ實績ヲ見ルヲ得ザリシハ遺憾ナリシモ當該村民ノ受クル利益ハ極メテ大ナルヲ認メラル。

出張診療ニ關シテハ前年度之ヲ二十ヶ村ニツキ實施セルモ醫師ノ轉住其ノ他實施成績等ヲ參酌シ本年度ハ之ヲ九ヶ村ニ減村シタルモ相當ノ成績ヲ擧ゲ得タリ出張診療回數三四八回、患者取扱實人員一、〇六九人ノ他要救護者外ノ村民ニテ便宜普通治療費ヲ支拂ヒ治療ヲ受ケタル患者取扱實人員六五〇人ニ及ベリ。

助産取扱ニ關シテハ未だ十分趣旨徹底セザル向アリ其ノ取扱町村概定マリ居リ全縣下一般ニ及バザルヲ以テ力メテソノ利用方ヲ督勵シツ、アリ。

本縣ハ天候生活様式等ノ關係ニテ毎年死亡高率ニシテ農漁山村ノ疲弊甚シク亦醫療ヲ受クルノ資ニ乏シクシテ疾病率亦全國ニ比シ顯著ナル現狀ニ鑑ミ醫療救護ノ施設ヲ要スルモノ大ニシテ本救療ノ實施ニ依リ縣民一般ノ益スルトコロ極メテ多キヲ想ヒ聖恩ノ深キヲ齊シク感泣シツ、アリ。

#### 恩賜救療藥

解熱藥、小兒解熱藥、鎮咳藥、小兒鎮咳藥、腹痛藥、頭痛藥、胃散、下痢止藥、虫下シ藥、外傷藥。

#### 富山縣

##### 實施ノ概況

本縣ニ於ケル町村數ハ二百六十三ヶ村ニシテ内開業醫ノ居住セザル町村ハ百十五ヶ村ナルヲ以テ全町村ニ對スル之ガ割合ハ四三%ニ當リ比較的醫療施設ニ乏シキ狀態ニアルニ鑑ミ本年度ニ於テモ前年度同様之等醫師ナキ町村ノ中四十六ヶ村ニ對シテハ巡回診療ヲ行ヒ尙富山縣醫師會ト協定シ七月ヨリ醫師ナキ町村四十ヶ村ニ出張診療ヲナシ、醫師ナキ町村ニシテ交通ニ便ナル町村及醫師アル町村ニ對シテハ濟生會ノ委託診療ヲ以テシ更ニ診療中入院加療ヲ要スル患者ニハ<sup>恩賜</sup>財團濟生會ニ委託シテ入院治療セシムル等救療ノ普及徹底ニ努メタルヲ以テ被救療者ハ勿論縣民等シク聖恩ノ洪大ナルニ感激シ居ル次第ナリ。

以下救療ノ方法別ニ情況ノ概略ヲ記セバ左ノ如シ。

##### 一、巡回診療

前年度同様四診療班ヲシテ醫師ナキ僻陬村四十六ヶ村ヲ毎月二回乃至一回巡回診療セシメ必要ナル患者ニハ處方箋券ヲ發行シ治療ノ實ヲ舉グルニ努メ尙本年ハ數十年來曾テナキ降雪アリ、交通不便ヲ極メ、幾多ノ困苦危險ヲ伴ヒ、時ニスキーバン山中吹雪ニ遭遇シ一行生死ノ境ヲ彷徨セシコト等アリシモ從事員能ク職責ヲ重ンジ一日ト雖モ診療ヲ缺キタルコトナク無事ニ其

##### ノ目的ヲ達成シ、一ヶ年ヲ通ジ二三、二四二人ヲ診療シ、ソノ治療延日數一六八、〇一四日ニ及ベリ。

##### 二、出張診療

富山縣醫師會ト協定シ、地方開業醫ニ委託シ七月ヨリ醫師ナキ町村四十ヶ村ニ於テ毎月二回出張診療ヲ實施シ、九ヶ月間ニ診療人員二、八四七人治療延日數二九、六〇二日ノ成績ヲ得タリ。

##### 三、開眼検診

盲目ニシテ貧困ナルモノ、爲金澤醫大眼科部長ヲ招聘シ縣下八ヶ所ニ於テ開眼検診ヲ爲シタル結果検診者八五五人ノ中見込アル患者一四一人アリ、ソノ中十二名ニ對シ<sup>恩賜</sup>濟生會ニ於テ開眼治療ヲ爲サシメタル處十名ノ手術奏効シタルヲ以テ之等開眼者ハ皇恩仁慈ノ洪大ナルニ感泣シ一意報恩ノ念ニ燃エツ、更生ノ生活ニ励ミツ、アリ。

##### 四、其ノ他ノ施設

交通最モ不便ニシテ醫療ヲ求ムルニ困難ナル三十一ヶ村、一八三部落ニ救急藥ヲ配置セシ外、利賀村、南盤谷村ノ醫療施設ニ對シ同施設費ノ約半額ノ補助ヲナシ尙公設產婆ヲ設置セルニ二十一ヶ村ニ對シ、補助金ノ交付ヲナシ、何レモ相當ノ實績ヲ收メタリ。

##### 其ノ他特記スベキ事項

本年度ニ於テ救療シタル患者ハ別表ノ如ク實人員二萬六千七百二十七人、治療延日數二十一萬千九百九十六日ニ達シ、是等救療ヲ受ケタル患者ハ何レモ貧困ニシテ醫療ヲ受クルノ資ナキモノ或ハ山間ノ僻地ニシテ醫療ヲ受クルノ道ナキ者等ニシテ之等無告ノ窮民ハ幸ニ本施設ニヨリ治癒シ或ハ輕快シテ 聖恩ニ感泣シテ居ル者枚舉ニ遑アラザル狀況ナリ。

尙本施設ノ縣民ノ保健衛生上ニ及ボセル影響ハキトヨリ、思想上ニ及ボセル影響亦甚大ナルモノアリ。  
之等ニ關スル二三ノ報告ヲ摘記スレバ

一、中新川郡東加積村長報告

貧民大部分ノ疾病者ハ重患ヲ除ク以外ハ賣藥又ハ買置藥等ヲ以テ治療ヲナシ相當醫師ノ診斷ヲ受ケ休養シテ根本的ノ治療ヲ受クルコト能ハザル狀態ニアリシニ今度恩賜救療事業ニヨリ無料ニテ服藥治療ノ恩典ニ浴シ得ルコトナレバ患者ハ勿論誠心誠意治療スルヲ以テ全治モ速ナルハ勿論、治療費モ要セザルコトナレバ家族一同之ガ施設ニ感激シ家業ニ精勵シツ、アリ。

#### 一、下新川郡上中島村長報告

イ、特記スペキ事例ナキモ近年病苦ニ惱ミ之ガ治療ヲ受クルニ資力ナク只臥床ノ人トナルニツレ一家ノ生計益々窮迫トナリ、精神ト病苦其ノ極ニ達シ居ル矢先トテ聖恩ニ感激セザルモノナク診療ヲ受クルニ先立チ皇居ヲ遙拜セザルモノナシ。ロ、恩賜救療ニヨリ全愈スルモノ九五%ノ好成績ニテ本人ハ勿論一家ノ一大福音ニテ國民精神ハ彌ガ上ニモ増進シ各自ノ本業ニ能ク精勵スルト共ニ一家ノ生計ニ多大ノ好影響ヲ與ヘ居ル現況ナリ。

#### 一、中新川郡音杉村長報告

イ、天子様ヨリ載ク藥ナレバ家ニ居テ診療ヲ受クルハ勿體ナイト重病患者ナルガ家人二人掛リニテ巡回診療所ヘ來タリタルモノアリ之等ハ精神的ニ天子様ノ御蔭デ病氣ハ確カニ全快スルモノト信ジ感激シテ居リシ爲メ藥効ハ著シク二ヶ月ニテ全快シタルモノアリ。

ロ、患者ハ控室ニ於テ聖旨ノ有難キヲ語リ居ル間ニ自然ニ恐レ多クモ陛下ノ御事ヤ皇族方ノ種々有難キ御事共ヲ語リ合ヒ老人等ハ感激ノ餘リ念佛ヲ唱フル者モアレハ誠ニ美シキ状景ナリ。

#### 一、東礪波郡山野村長報告

御聖恩ニ浴セシモノハ此ノ有難キ、御聖旨ヲ奉體シ健康保持ニ努メ家業ニ勵ミ皇恩ノ萬分ノニモ對ヘ奉ル様心掛ケテ居ル。

#### 一、西礪波郡南谷村長報告

診療ニ浴セシ岡○藤○ハ未成年ニシテ以前東京ノ某商店ニ見習奉公中病ニ冒サレ某病院ニテ治療セシモ全快ニ至ラズ爲ニ親元ヘ返リ難儀シ居リシ折柄、恩賜出張診療開始セラレタルヲ以テ本人ハ快復ノ意氣ニ燃エ二ヶ月餘ニシテ全快シ本人ノ悅ビ

尙五日朝早ク柄折ニ向ツテ出發折徳寺ニ於テ診療親切ナル診療ニ患者ハ喜ビ歸レリ。

### 岡山縣

#### 實施ノ概況

ハモトヨリ一家ハ皇室ノ御仁慈ニ感泣シタリ。

#### 一、婦負郡大谷村長報告

三月三日、四日、五日共ニ降雪甚シク其ノ上積雪多量ノ爲メ通行杜絶シ到底巡回診療班一行ノ御出ヲ希フコト出來スト思ヒ居リタル所三日夕刻診療班一行スキニテ來村セラレタリ、村當局始メ村民其ノ有難キニ唯感謝ノ意ヲ表スル許リデアツタ

尙五日朝早ク柄折ニ向ツテ出發折徳寺ニ於テ診療親切ナル診療ニ患者ハ喜ビ歸レリ。

昭和八年度醫療救護實施ニ關スル通牒ニ接シ上半期分救療費ノ配當アリタルニ依リ之ニ更ニ縣費ヲ加ヘ前年度同様委託診療出張診療巡回診療及私設救療團體助成ノ四方法ニ依リ實施スルコト、シ既往ノ實績ニ鑑ミ市町村ニ對シ救療費ノ割當ヲ爲スト共ニ直ニ之ガ施行ニ關スル通牒ヲ關係ノ向ニ發シ且ツ本事業ノ普及徹底ヲ期シ各郡市毎ニ市町村長警察署長濟世顧問濟世委員及郡市醫師會長等ヲ召集シ打合會ヲ開催シテ關係者ノ聯絡ヲ盡ル等極力之ガ主旨ノ普及徹底ニ努メタリ尙旱害ノ爲要救療者多數アリト認メラル町村ニ對シテハ救療費ノ追加割當ヲ爲ス等之ガ實施ニ關シ萬全ヲ期シタル結果圓滑ナル救療ヲ爲スコトヲ得本年度中ニ於テ一萬七千七百二人ノ多數ノ貧困病者ノ救療ヲ爲スコトヲ得タリ、然シテ右救療者中地方ニ於テハ治療上不便ヲ感ズル患者ニ對シテ出來得ル限り岡山醫科大學附屬醫院及日本赤十字社岡山支部岡山病院等ニ入院治療セシメタリ、尙近時漁村ノ窮乏特ニ著シキモノアリ要救療者激増ノ現狀ニ鑑ミ縣下漁村中窮乏著シク而モ要救療者多數アリト認メラル、五ヶ町村ニ對シ更ニ加ヘテ内科、眼科、耳鼻咽喉科ノ専門醫ニ嘱託シ右町村ヲ中心ニ特別診療ヲ實施シ二千四百六十人ヲ診療セリ、  
醫療救護事業實施ニ當リテ御聖旨ヲ奉體シ内務省ヨリ交付ノ醫療救護費ノ趣旨ニ鑑ミ關係者ヲ督勵シ最善ノ努力ヲ以テ縣下貧窮患者ノ救療ニ遺憾ナキヲ期シタルヲ以テ要救療者一同、聖恩ノ厚キニ感激セリ。

#### 其他特記スペキ事項

本事業實施ニ當リテハ、御内帑金御下賜ノ趣旨ヲ奉體シ要救療者ニ對シ恩賜診療券交付ノ必要アル場合ハ先づ之ガ趣旨ヲ説明ノ上交付セルガ受療者ハ何レモ赤貧ニシテ病魔ニ犯サレ乍ラ醫藥ヲ受クル能ハザルモノ或バ曾テ多少ノ資力ヲ有セシモ永ギニ直ル病患ニ全ク消費シ空シク病憚ニ呻吟セルモノ又ハ山間ノ避地ニシテ醫藥ヲ得ルノ途ナキモノ等ナル爲ニ、皇室ノ窮民ヲ慈ミ給フ、御聖旨ヲ拜シ何レモ御仁徳ノ厚キニ感激シ久シキニ涉ル難患モ急激ニシテ重篤ナル疾患モ幸ニ治癒シ或ハ輕快シテ聖恩ニ感激シテ此ノ御高恩ノ萬ニ報ヒ奉ルベク生業ニ精進スル等無告ノ窮民ガ如何ニ感激シツハアルカヲ推知スルニ足シリ。其ノ主ナルモノヲ摘記スルニ

一、児島郡小串村山○幾〇（五十九歳）ハ妻〇及二男一女アリ豆腐製造ヲ業トセルガ失明ニ近キ眼病ヲ患ヒ居レルヲ以テ業務意ノ如クナラス長男ガ肥料工場ノ雜役夫トシテ勤務シ得ル僅ノ收入ニ依リ一家ノ生計ヲ立テ居リシガ長男ハ本年度徵兵検査ノ結果甲種合格トナリ騎兵第二十聯隊ニ入營スルコト、ナレリ、偶々昭和九年一月長〇入營ノ自陳ニ迫ル時幾〇夫婦ハ惡性ノ流行性感冒ニ襲ハレ剩ヘ氣管支炎ヲ併發シ長女ハ腹膜炎ニ侵サレタルモ醫療ヲ受クルコトヲ得ズ一家ノ窮乏ハ其ノ極ニ達セリ此ノ有様ニ長〇ハ一入苦慮セリ。此ノコトヲ傳ヘ聞キタル村長ハ直ニ受持濟世委員ト協議ノ上本事業ノ趣旨ヲ説明ノ上恩賜診療券ヲ交付シ診療ヲ受ケシムルト共ニ生活扶助ニ關シ盡力シタルニ、聖恩ノ宏大無邊ニ病床ヨリ感激シ東天ヲ伏シ拜セリ。長〇ハ大ニ感激シ家事ヲ村長ニ託シ後顧ノ憂ナク勇ミテ入營ノ爲目的地ニ向ツテ出發セリ。此ノ美シキ尊キ氣持ニ共ニ感激セリ。

（現在ハ軍事救護法ニ依ル生活扶助ヲ受ケツツアリ）

一、久米郡龍山村岸〇童（六五歳）ハ家相、地相等ヲ見ル傍山伏ヲ業トシ妻子ハ僅ノ小作ヲ爲シ漸ク其ノ日ノ生計ヲ爲セリ。○童ハ性來病弱ナリシガ昨年十二月頃ヨリ肺結核ニテ病勢加ハリ病床ニ就クニ至レリ以テ近隣ノ者等醫療ヲ勧メタルモ醫藥ハ高價ニシテ而モ自分ノ病ハ一時のノ病氣ニアラザル故ヲ以テ醫師ノ診療モ受ケズタゞ天命ニ委スル有様ナリキ。此ノ事ヲ傳ヘ聞キタル宮本濟世委員ハ直ニ同人ヲ訪問シ病氣見舞ヲ述べ種々慰安シ恩賜診療券ニ關シ詳細説明シタルニ今迄醫藥ヲ服

スルコトヲ肯ザワシ同人モ遂ニ同意シタルヲ以テ恩賜診療券ヲ交付シ毎週二回出張ノ醫師ノ診療ヲ受ケシメ連續的ニ服藥セシメタリ。其ノ後或ル日宮本濟世委員ハ同人ヲ見舞タルニ感謝ノ涙ヲ流シ乍ラ「私ノ病氣ハ肺結核デスカラ全快スルコトハ無イ然シ私ノ様ナ貧乏人デモ醫師ノ診察ヲ受ケ服藥スルコトモ出來ル。是ハ御上ノ御蔭アリ、私ハ東ニ向ヒ禮拜シテ服藥シタイノデスガ動クコトガ出來ナイノヲ遺憾トシテキマス然シ心中デハ宮城ニ向ヒ禮拜シテ服藥シテ居リマス。世界中デ我ガ國ノ様ナ有難ヒ國ガ又トアルデシヨウカ」ト涙ヲ流シテ喜ベリ。

數日後遂ニ家族及近親者ノ手厚キ介抱モ甲斐ナク病革リ死亡セリ然レ共其ノ最後ニ當リ、聖澤ニ浴セシメ得タルハ本人ノ満足此ノ上ナク近親者モ、聖恩ノ厚キニ感激セリ。

一、川上郡大賀村曾〇增〇（二九歳）ハ昭和九年一月頃ヨリ半身不隨ニテ排尿、排便ナク病苦ニ呻吟スル身トナリシモ家貧困ニシテ醫療ヲ受クルコトヲ得ズ、單ニ賣藥等ヲ用ヒテ病苦ヲ慰シツ、アリシガ病勢益々昂ジ歩行スラ全ク困難ニシテ病床ニ病ヲ養フ身トナレリ、依テ村長ハ巡回診療班ノ診療ヲ受ケシメタルニ、脊髓カリエスノ下診断サレタルが爾來一周回ノ巡回診療日毎ニ診療ヲ受ケシムルコト十一回専心治療ニ努メタル結果經過良好ニシテ漸ク身體ノ自由モ叶ヒ步行モ以前ニ立歸リタル爲一家ハ更生ノ喜ニ輝ケリ。是レニ聖恩ニ依ルモノナリト感激シ生業ニ精勵セリ傳ヘ聞ク村民モ、洪恩ノ厚キニ感激セリ。

一、和氣郡伊里村正〇金〇〇妻ニ〇〇（六十三歳）ハ幼少ノ頃より眼病ニテ視力ヲ失ヒ困難セリ、然ルニ家貧困ニシテ之ガ治療ノ方法ナク己ムナク今日ニ及ベリ偶々本年三月同村ニ於テ特別診療施行ニ接シ眼科醫ノ検診ヲ受ケ手術ヲ爲シタルニ視力ヲ回復スルコトヲ得タリ、是ニ聖恩ニ依ルモノナリト感涙ニ咽ヒ乍ラ左ノ手紙ヲ寄セタリ。村長一周回日間ヘ念茲ニ御「邦啓私ハ今度四十年コノカタ惡ク見ニヌ眼ガ見ニル様ニナリマシタ嬉シクテナリマゼン娘モ親類モ皆々ヨリコソア居リマス」ス

天皇様ニ御禮ヲ申シテ下サ不此ノ御恩ハ決シテ忘レマゼン嬉シグテ泣孔テ居リマス」小説書ハ誠實牛久井義典著一編御錄書

一、眞庭郡中和村ハ縣下北部縣境ニ位スル貧困山村ニシテ醫師在住セズ且<sup>メ</sup>醫療ニ關スル何等ノ施設モナク從テ一度罹病醫師ヲ招聘セムカ數十圓ヲ要スルヲ以テ醫療ノ資ニ乏シキ中產階級以下ノ者ハ多ク死亡後醫師ノ診斷ヲ受クルノ已ムナキ狀態ナリキ依テ村民ノ待望久シキ恩賜巡回診療班ヲ派遣セシニ村民ハ感激シテ之ヲ迎ヘ受療者ハ感涙ニ咽ベリ而モ患者ノ大半數ガ慢性的疾患者タルコトニ徵スルモ如何ニ本村ガ醫療ニ恵マレザリシカヲ物語ルモノニシテ爾來毎週一回一日間ノ診療ヲ繼續セシニ村長ハ「今回施行ノ時局匡救事業中醫療救護事業ガ一番有難ク且ツ有効ナリ」ト感激シ是ノ無邊ノ御皇恩ニ對シ村民ノ氣風ヲ一新シ舉村自力更生ノ途ニ精進シ農村振興ニ與タル所大ナルモノアリ。

廣島縣 實施人概況  
一、要救療者資格  
要救療者ハ本縣内ニ居住スル者ニシテ方面委員ニ於テ方面委員事業ニ於ケル生活等位八内所謂カリド階級以下ニ屬スル者ニ交付ス。

二、診療券配付方法  
前年ニ於ケル要救療者世帶へ豫メ配付スル方法ヲ廣シ縣下ノ千六百五十名ノ方面委員ニ對シ豫メ診療券ヲ配付シ置キ委員ヨリ該當患者ニ交付セシム。

### 三、事業方法

#### イ、委託診療

診療ハ廣島縣醫師會 廣島縣齒科醫師會トノ契約ニ依リ之ニ引講ケシメ調劑ニ付テハ廣島縣藥劑師會トノ契約ニ基キ一劑一日分五錢ニ協定ス。

#### ロ、出張診療

前年決定ノ醫師ナキ町村並醫療ニ甚シク支障アリト認メラル、一一八ヶ町村（醫師ナキ所百十一ヶ町村、醫療ニ甚シ）中四二ヶ町村、（醫師ナキ町村三六）ヲ選定シ一ヶ町村一ヶ所ノ割合ニテ出張診療所ヲ設ケ囑託醫師ニ對シ一人平均三百四十圓ノ見込ヲ以テ手當ヲ支給ス。

#### 四、診療成績

本年度中ニ於テ取扱ヒシ患者ハ實人員一七、三六九名、延人員三三一〇、五四二名ニシテ醫師ヨリノ請求點數六六二、一一八點（前半期三三六、三五三點五）（後半期三二五、七六四點五）查定總點數五二四、一一三點（前半期二六七、〇九七點）ニシテ一點ノ單價前半期七錢九厘一人一日當一三錢一厘後半期八錢三厘一人一日當一三錢五厘ナリ。

#### 五、出張診療所

縣下四二ヶ所ニ於ケル出張診療所取扱患者左ノ如シ。  
有料患者實人員 一〇、七八九名  
恩賜救療患者實人員 一、八〇一名  
濟生會取扱患者實人員 一六名  
救護法取扱患者實人員 一二名  
其ノ他特記スベキ事項

共ノ一 廣島市天浦橋方面常務委員 杉本秀一 報告

昭和八年二月十日未タ肌寒ク感ゼラル、夜八事、例ニ依リ本員受持區域内ヲ巡視シタル處、石破某家ヨリ漏レル悲痛ナル鳴咽ヲ耳ニシ直チニ訪問シタリ。其ノ夫婦は皆老病者也、妻は瘧疾者也、夫は瘧疾者也、子供は瘧疾者也、孫は瘧疾者也、不意ノ闖入者ニ幾分當惑シタルカニ見ヘタルモ、方面委員ト知リタル妻女ハ安堵ノ色ヲ表シ乍ラ涙聲共ニ語ル所ニ依レバ入

「私ノ產後ノ肥立惡シク最早一ヶ年餘リ病床ニアル事ニテ、僅カノ蓄ヘモ今日迄アラウ皆モ大ク剩ヘ主人ハ日稼ギナビバ、收入トテモ恩ハシカラズ、年ト共ニ加ハル不景氣ハ夫ノ仕事スラ奪ヒ去リ、十二歳ヲ頭ニ六人ノ子供ノアル事トテ日々植スラ事缺ク日ノ次第ニ數ヲ増ス今日此ノ頃醫師ニ見テ頂ク金ト未ハ到底思ヒモ寄ラヌ事ニテ步行スラ出來得ガル次第ニテ、此ハ上生フ保タントスレバ當然全部ノ者ノ餓死スル日モ、時ノ問題トナリ居ル狀態故一層ノ事一ト思ヒニ今日ハ鐵路ニ消ヘヤウカ明日ハ海ニ身ヲ投ジヤウカト思ヘ共、無心ニ眠ル可愛イ、子供達ノ顔ヲ見テハ心モ鉢リ今日迄命ヲ永ラヘテ來マシタガ、今夜コソハ心ヲ鬼ニ此ノ六人ノ子供ヲ連ヒテ死ナウト決心シタレ共、女心ノ果サ遂ニ悲シクナツテ泣イテ仕舞ヒマシタ」ト消ヘ入ル様ナ言葉ニ本員モ驚キ、其ノ身ノ不心得ヲ諭シ「將來ハ必ラズ右様ノ心ヲ持タズ子供ノ生長ヲ樂シムヤウ、尙病氣全快致ス迄ハ醫師ニカケテ上ゲルカラ……」ト申シ聞カセ恩賜診療券ノ有難キ理由ヲ申シ聞カセ、貧シキ中ニモ夫婦揃ツテ此ノ子供達ヲ大キクスル様懇ニ諭シタル所妻女モ、皇恩ノ洪大無窮ナルニ痛ク心ヲ打タレ涙シテ喜ビ「斯クアル上ハ一日モ早ク全快シ必ラズトモ皇恩ノ萬分ノ一二モ報ヒ奉ル」事ヲ誓ヒタリ此ノ話中主人モ歸宅シ話ス所ヲ聞ケバサナキダニ子供ヲ抱ヘ困窮致シ居リタル所ヘ、妻ニ寢ツカレ途方ニ暮レテ居リマシタ、剩ヘ收入ガ少ク妻ノ病氣ヲ癒ス資モナク、行ク先々ヲ考フレバ氣ガカリデ思フ様ニ働ケマゼン、良イ時ニ來テ下サレタ、何卒助ケテ下サイ妻ガ全快スレバ私初メ六人ノ子供モ助カリマス」ト夫婦始メ六人ノ子供等ハ早ヤ全快シタカノ如ク喜ビタリ。

其ノ後日ニ日ニ病氣ハ快方に向ヒ現今デハ早ヤ全快ニ等シキ有様ニテ「冰菓子」等ヲ賣リ家計ノ一助トスル迄ニナリ、貧困ノ中ニモ母ノ全快ヲ喜ビ一家常ニ笑聲ヲ聞カザル日無シト近所ノ人々ガ話スド同時ニ本員モ常ニ其ノ家庭ヲ訪問シ其ノ實狀ヲ目視シ居レリ。

以上ノ如ク恩賜診療券ニ依リ此ノ一家七名ノ命ガ助カリタル事ハ申ス迄モナク其ノ他此ノ診療券ノ御蔭ニテ病氣全快シタル者本員ノ取扱ヒタル數約四十三名ニ及ベリ。

### 其ノ二、吳市茅上方面常務委員

### 三好恒太郎報告

舊歲末週間中受持部内ナル梶澤某（五一年）宅ヲ往訪セシ處壁ハ壞レテ骨竹ヲ顯ハシ、莫産ヲ展張シテ灰ケ峯風ヲ防ケル外汚キ一室ニ此家ノ柱石タル主人ハ痼疾ノ喘息ニテ又長男某（二六年）ハ胸部ノ疾患ニテ共ニ瘦骨ヲ裸裡ニ横タヘ、其傍ラニ悄然トシテ看護ニ從ヘル妻女某ハ二人ニ意ノ如ク藥餌ヲ攝ラシメ得ザル窮状ヲ懇ヘ、一家ノ不幸ヲ歎キテ天ノ無情ヲ怨ムガ如ク一大長息ヲ發スル悲慘ナル面ニハ本委員モ隱忍ノ情禁シ難ク取り敢ヘズ長男ニ對シテハ恩賜診療券ヲ交付シ内科専門ノ鹿田町兒玉博士ヲ指示シテ受診セシムルコトハシ、母ニ介抱セラレテ診ヲ請ヒシニ博士ハ恵愛能ク憫レミ親シク診療シテ肺結核ト断シ特ニ忠部ヲレントゲンニカケ寫真ヲ撮影シテ我ガ子ノ症狀ヲ憂慮セル病夫ニ示スベキヲ以テシ加之患者ニ對シテハ「治療ハ相當日時ヲ要スルモ今ハ初期ナリ敢テ藥價ノ無料ニ遠慮スルコトナク宜シク氣永ク服藥シテ全快ヲ期スペキヨウ」懇ロニ慰撫謝意ヲ表スベク往訪セシ時恰モ往診中ニテ親シク面談スル能ハザリシガ越ヘテ二月一日再ビ患者ヲ訪問セシ處、其後ノ經過良好トノコトナリシモ尙此家ノ前後策攻究ノ必要上博士ノ意見ト指示トヲ求ムベク即日醫院ヲ訪レ親シク聲咳ニ接シテ家人感激ノ意ヲ陳ヘテ謝意ヲ表セシニ博士ハ謙遜辭讓其語ラルハ處ニヨレバカ一階級患者ニ對シテハ精神上ニ及ス影響ヲモ考慮シ仁ト愛トヲ以テ接シ授藥ノ如キ特ニ注意ヲ拂ヒ二劑ハ勿論時ニ三劑トスルコト往々ナリ、若シ夫レ診療券ニ依ル患者ニ對スル治療ノ如キ國民保健ニ御軫念アラセ給フ、上御一人ノ聖慮ヲ安ジ奉ル所以ニシテ醫ノ仁術タル當然ノ責務ナリ、何ゾ射意ノ要アラムヤト東風ノ暖ヲ送ルガ如キ溫乎タル其容、靄然タル其言、以テ自ラ親愛欣慕ノ情湧出セルヲ覺エシメタ。

惟フニ物質本能ノ現社會ニ動モスレバ診療券ハ藥價ノ關係ト手續ノ煩ナルトヲ嫌厭シ往々ニシテ輕盛スペキ幾多ノ實話ヲ耳ニセル今日博士ノ如キ世ノ薄俸ナル貧困者ニ對シ温情以テ之ニ接シ能ク醫業ノ仁術ヲ發揮シ寡慾至誠ナル蓋シ寡聞ニシテ他ニ其類ヲ見ス博士ノ崇高ナル人格ニ對シテハ衷心ヨリ敬愛ヲ捧グルト共ニ吾人社會事業ニ携ハルモノ、有力ナル味方ヲ得タルコトヲ延ニ心強ク感ズルモノデアル。

## 實 施 ノ 概 况

御下賜金及國費ノ醫療救護費ニ依ル救療ハ左ノ二種類ニ依リ之ヲ實施セリ。

委託診療 恩賜 財團 濟生會ニ委託シテ行フ。

出張診療 二十五ヶ所ハ日本赤十字社山口支部ニ委託シテ行フ

實施ノ概況左ノ如シ

## 一、委 託 診 療

委託診療ハ普偏的ニ救療ヲ實施セシムル爲救療費ヲ各市町村ニ割當テ市町村長ハ之ノ割當額ノ限度ニ於テ救療ヲ實施スルコトトセリ然ルニ各市町村共概々年度當初ニ於テ救療人員甚シク多キニ登タル爲年度半バニシテ割當救療費ノ大部ヲ費消シ以後新患者ノ救療ヲ停止セザルベカラザルニ至リタル市町村尠カラズ從ツテ五月ヲ最高トシ以下月ヲ逐フテ漸次救療人員ヲ減少シ本年一月ニ於テハ救療延日數四、〇一〇ニシテ最高ノ五月ニ比スレバ四分ノ一ニ過ギサルニ至レシ之レ一ハ市町村ニ於ケル取扱ニ注意ヲ缺キタルニ因ルベキモ主トシテ要救療者ノ多キニ比シ救療費過少ナルニ原因スルモノニシア被救療者カ要救療者ノ一部ニ過ギサルノ實情ヲ語ルモノニシテ救療實施上甚ダ遺憾トスル所ナツ。

二、出 張 診 療

出張診療ハ醫師ナキ部落又ハ島嶼中交通不便ニシテ平素醫療ニ恵マレザル地方ニ對スル特殊施設シテ實施セルモノニシテ其ノ概況左ノ如シ。

## (1) 縣直營ノ出張診療

縣直營ノ出張診療所ハ三十五ヶ所トシ診療醫ハ郡醫師會長ニ委託シテ選定シ診療ハ毎月五回以上之ヲ實施セリ然ルニ各診療所共年初タニ於ケル救療人員甚ダシク豫定ヲ超過シ豫算不足ヲ來ス處レラ生ジタルヲ以テ出張診療所中醫師開業等

## 和 歌 山 縣

## 實 施 ノ 概 况

ニヨリ自然廢止トナリタル五ヶ所ハ補充ノ出張診療所ヲ設ケズ且ツ救療患者モ極力整理シテ豫定ヲ範圍内ニ止ムヘシ努メタルモ尙且ツ豫算ノ經理困難ヲ來スニ至リタルヲ以テ一月以降救療費豫定ヲ甚ダシク超過セル六ヶ所（内一ヶ所ハ十ヶ月ヨリ停止セリ）ノ出張診療ヲ停止スルノ止ムナキニ至レリ從ツテ救療人員モ四月ヲ最高トシ以下月ヲ逐フテ減少ヲ來セリ。

## (2) 日本赤十字社山口支部ニ委託シテ行フ出張診療

日本赤十字社山口支部ニ委託シテ行フ出張診療ハ二十五ヶ所（内二ヶ所ハ一月ヨリ廢止ス）トシ醫師ハ縣直營ト同ジク郡醫師會長ニ委託シテ選定シ診療ハ毎月三回以上之ヲ實施セリ然シテ受託者タル日本赤十字社山口支部ニ對シテハ委託料五千圓ヲ支拂ヒ同支部ニ於テハ委託料ノ外支部經費ヨリ四千六百十七圓餘ヲ支出シテ受託フ出張診療ヲ實施セリ。

## 其ノ他特記スベキ事項

一、チフテリヤ病ニ罹リタル少女アリ、發病當初賣藥療法ヲ採リ居ル内、第二傳染シ一家二人ノ患者ヲ出スニ至リタルタメ驚キテ醫師ノ診察ヲ受ケタルニ喉頭チフテリヤノ重患ニシテ醫藥ヲ得ルノ資ナキモノ聖恩ノ有難キニ感喜シテ救療ヲ受ケ醫師モ又此ノ趣旨ヲ奉戴シ親切ニ患者ヲ取扱ヒ別表ノ如キ效果ヲ收メタツ。本手術ハ相當受診ノ經費ヲ要スルヲ以テ貧困家庭トシテハ躊躇スル所ナルモ本醫藥ニヨリ直ニ手術ヲ受クルコトヲ得一命ヲ取止メタリ。右患者ノ實父ハ日傭稼ヲナシ終日ノ勞ヲ憲スルタメ每夜晚酌ヲナシ居リシモ今回ノ子女ノ不慮ノ疾患ニ非常準備ノ必要ナルコトヲ痛感シタルト御仁慈ノ聖恩ニ感激シテ報恩ノ誠心ヨリ將來禁酒シテ勤勉力行スペキコトヲ誓言セリ。

二、其ノ他醫療ノ資ナク只病床ニ呻吟スル患者ニトツテハ本施設ハ實ニ暗黒ヨリ黎明ヘシ希望ニ生キル唯ニ光明ニシテ本醫

療ヲ受クルニ及ビ自暴自棄ノ世界ヨリ脱スルヲ得テ 皇恩ノ有難キニ感激シ思想上ニ及ボス好影響ノ實三大ナルヲ認ム。本件

### 番川縣

#### 實施ノ概況

一、本年度醫療救護施設ニ關シテハ種々考慮ヲ重ねタル結果御下賜金並ニ國庫金共全額恩賜財團濟生會救療費ニ繰入委託診療ニ依リ實績ヲ舉グルコトトシ委託診療ニ在リテハ昨年度ニ引續キ救療券ニ依リ既設ノ醫療機關タル醫師、歯科醫師、藥劑師ニ委託シテ一層救療ノ普及徹底ヲ期シタリ即チ救療費ニ付テハ細心ノ注意ヲ拂ヒ縣下百七十四ヶ市町村ニ於ケル特別稅戶數割免除ヲ受クルモノ並ニ同最低賦課ヲ受クルモノノ戸數ニ按分シタル上夫々所轄警察署ニ配當シ配付ヲ受ケタル警察署ハ管内各市町村長方面委員其ノ他ト緊密ナル連絡ヲ保チ要救療者ノ發見ニ努メ醫療ニ苦シム窮民ニ對シテハ普ク醫療ノ恩惠ニ浴セシム様指示監督シタリ。

一、救療ヲ受クベキモノハ昨年度同様本縣住民ニシテ醫藥ヲ得ルノ資力ナキ傷病者タルヲ本體トシ無告ノ窮民ノ救護ニ意ヲ注ギタル結果相當多數ノ患者ヲ救療シタリ。

一、尙實際ノ救療ニ當リテハ市町村別割當額ニ拘泥スルコトナク配當豫算内ニ於テ適宜所轄内市町村ソ割當額ヲ融通シ救療ノ實ヲ舉グルコトニ努メシメタルノ外一面醫師歯科醫師藥劑師及市町村長並ニ方面委員ノ會合ニハ衛生課長ヲシテ之ニ當ラシメ相連絡ヲ保チ成績ヲ舉グルコトニ努力シタリ。

一、出張診療ニ關シテハ種々考慮シタル結果醫師ナキ町村五十（昭和八年十一月現在）中特ニ交通不便ニシテ僻陬ト認メラル地ノ十ヶ村ヲ選ビ醫師ヲ嘱託シテ定期ニ出張診療ヲ爲サシメ救療患者ノ醫療ニ從事セシメ一層普及ニ努メタリ。

一、救療費支拂ニ當リテハ各郡市醫師會ニ於テ相當審査セラレタルモ特ニ縣衛生技師二名ヲシテ之ニ當ラシメ不遜ノ請求ヲ爲セルモノヲ嚴重ニ監査セシメタリ。

一、救療患者ノ大多數ハ別途統計ノ示ス如ク慢性的ノ疾患最モ多數ヲ占メ居レルモ何レモ全治又ハ輕快スルニ至リ患者並ニ家

族ハ勿論一般民ニ於テモ 聖恩ノ有難サト政府ノ施設ニ感泣シ居レリ。

#### 其ノ他特記スベキ事項

##### 三 豊 郡 比 地 大 村

後

○

ヌ

○

當三十二年

右者ハ昭和八年十二月下旬ヨリ腹部ニ痛ヲ生ジ非常ニ苦シム身トナリタルモ家族五人暮ニシテ小作地三反位ヲ耕作スルノミニテハ十分ナル醫藥ヲ求ムルコトヲ得ズ加持祈禱、灸點或ハ民間藥等ニテ治療ニ努メタルモ更ニ其ノ效力ク一家ノ者ハ悲嘆人餘リ厭世自殺ヲ企テントセシ折柄受持巡查ヨリ救療ヲ受クルコトヲ得タルモノニシテ日本赤十字社香川支部病院ニ行キ診察ヲ受ケタル所宣腸炎ト診斷サレタルヲ以テ入院ノ上手術シタル爲遂ニ全治スルニ至レリ爲メニ本人ハ勿論家族一同ノ者ハ聖恩ノ鴻大ナルニ感激シツツ居レルモ夫通太郎ノ如キハ性來酒好キナリシガ以後禁酒ヲ斷行スルニ至レリ。

##### 九 龜 市 鹽 屋

合

○

タ

當三十五年

右者昭和八年十一月妊娠臨月ニシテ腎臓炎ニ罹リ最早生命覺束ナキ狀態ニ陥リタルモ家族四人ニシテ夫唯一ガ日稼ニ依リ生計ヲ維持シ居ル關係上醫療ヲ受クル資ナク唯死ヲ待ツノ狀態ニアリタルヲ救療シ醫師ノ治療ヲ受ケシメタルニ恰モ渴シタル魚ニ水ヲ與ヘタル如ク醫藥ノ效忽チ顯レ日々快方ニ向ヒ遂ニ全治シ現在ニ於テハ圓扇職ニ從事シ居レルガ 聖恩ノ有難サニ當時ヲ追憶シテ談ズルニ何時モ涙ヲ浮ベ爾來毎朝食事前ニ必ズ皇居ヲ遙拜シ且ツ所轄警察署ノ方ヘ向ヒ禮ヲナシツツアリ。

龜

○

茂

當三十六年